

日本病院会の診療情報管理士育成事業

診療情報管理士通信教育

93期生募集のご案内

診療情報管理士は診療情報を中心に、健康に関する情報を国際統計分類に基づいて収集・管理し、データベースを抽出・加工・分析する専門職種です。そのデータは、病院経営、医療の質の評価、適切な医療政策の構築のために必須となっています。また、診療報酬支払制度、がん登録推進法、医療事故調査制度など、診療情報管理士が関係する重要な制度も多く、その役割は医療機関においてますます重要性をますますものとなりました。

本会の通信教育は、診療録管理士の養成課程として昭和47年に開講、診療情報管理士の認定者総数は33,306名（平成30年3月現在）となり、全国各地の医療機関で活躍しています。基礎医学をはじめ、診療情報管理士の業務や国際疾病分類等の専門分野を2年間で学び、知識と技術を理解、習得するための実務的なカリキュラムで、明日の医療を支える専門家を育てます。

1. 開講月日

平成30年7月1日

診療情報管理士

2. 申込締切

平成30年5月31日

3. 申込方法

日本病院会 診療情報管理士通信教育 WEBサイト

<http://www.jha-e.com/> 専用フォームよりお申し込みください。

4. 修業期間

2年間（基礎課程、専門課程各1年）

※次の資格をお持ちの方は、1年目の基礎課程が免除されます。

医師、歯科医師、看護師（保健師、助産師）、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、視能訓練士、言語聴覚士、歯科衛生士、歯科技工士、臨床工学技士、義肢装具士、救急救命士、あんまマッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師

5. 受講料

基礎課程、専門課程ともそれぞれ1年 100,000円（消費税込）

6. 募集定員

1,000名（先着順）

「診療情報管理士」 資格認定機関

- ・ 四病院団体協議会
日本病院会
全日本病院協会
日本医療法人協会
日本精神科病院協会
- ・ 医療研修推進財団

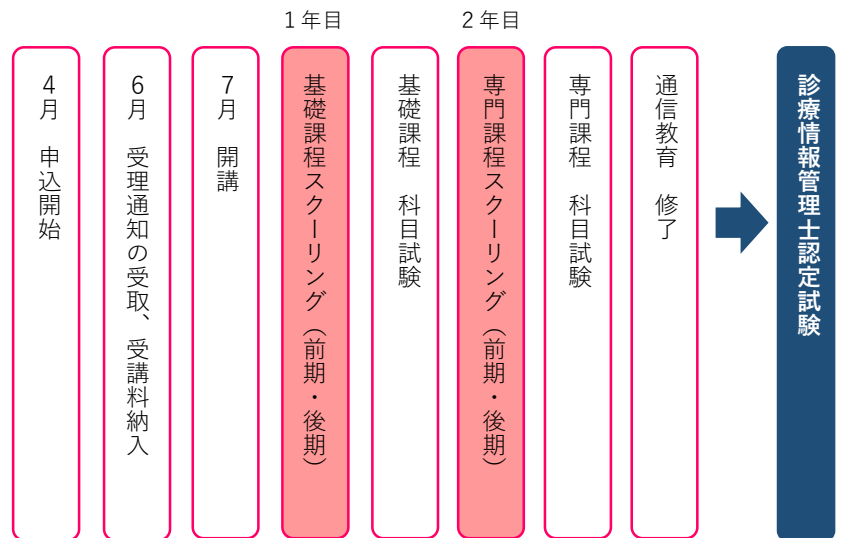


主な受講の流れ

通信教育の受講資格は、原則として2年生以上の短大卒または専門学校卒以上です。
※ただし現在病院に勤務にしている方は、高卒でも可。

<単位取得方法>

- ①テキストとレポートを使用した自学習（提出レポートあり）
- ②スクーリングの出席
年2回各地で開催、該当科目を全て出席すること。
(H31年度よりWEB配信予定)
- ③科目試験の合格
合格基準各科目60点以上。



※「診療情報管理士」の認定を受けるためには、本通信教育の全課程を修了後、認定試験（毎年2月実施）を受験、合格する必要があります。

カリキュラム

日本病院会診療情報管理士教育委員会が、よりふさわしい教育をめざして改訂、改善を重ねたカリキュラムと教材で学びます。
課程は基礎課程12科目各2単位、専門課程12科目各2単位、合計24科目48単位によって構成され、授業科目ごとに学習内容が細かく決まっています。

◆1年次 基礎課程 12科目

- ①医療概論
- ②人体構造・機能論
- ③臨床医学総論（外傷学、先天異常等含む）
- ④臨床医学各論Ⅰ（感染症および寄生虫症）
- ⑤臨床医学各論Ⅱ（新生物）
- ⑥臨床医学各論Ⅲ（血液・代謝・内分泌等）
- ⑦臨床医学各論Ⅳ（精神・脳神経・感覚器系等）
- ⑧臨床医学各論Ⅴ（循環器・呼吸器系）
- ⑨臨床医学各論Ⅵ（消化器・泌尿器系）
- ⑩臨床医学各論Ⅶ（周産期系）
- ⑪臨床医学各論Ⅷ（皮膚・筋骨格系等）
- ⑫医学・医療用語

◆2年次 専門課程 12科目

- ①医療管理総論
- ②医療管理各論Ⅰ（病院管理）
- ③医療管理各論Ⅱ（医療保険・介護保険制度）
- ④医療管理各論Ⅲ（医療安全・医療の質管理）
- ⑤保健医療情報学
- ⑥医療統計Ⅰ（統計理論）
- ⑦医療統計Ⅱ（病院統計・疾病統計）
- ⑧診療情報管理Ⅰ（法令・諸規則）
- ⑨診療情報管理Ⅱ（診療情報管理士の実務）
- ⑩診療情報管理Ⅲ（DPC・医師事務作業補助者・がん登録の実務）
- ⑪国際統計分類Ⅰ
- ⑫国際統計分類Ⅱ

※専用フォームから申し込みができない場合は、事務局までお問い合わせください。

※内容は募集時のものであり、今後変更になる可能性があります。

※日本病院会では、診療情報管理士育成において、大学、専門学校（3年制以上）を認定しており、該当する単位取得者は診療情報管理士認定試験を受験することができます。平成30年3月現在、指定大学は24大学、指定専門学校は54校。

お申し込み先

<http://www.jha-e.com/>

